

2023年5月吉日

令和5年度からお世話になります。よろしくお願ひいたします。

校長 佐藤勝子

今年度より、校長を務めさせていただきます、佐藤勝子（さとうかつこ）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。この度は、ご挨拶が遅くなり大変申し訳ありませんでした。

山形市立楯山小学校は、今年で123周年を迎える、地域に愛されてきた学校です。その歴史と伝統の息づく楯山の地で、「楯山小」の名を冠としてからだけでも120年以上、地域の学校として愛されてきた学校です。その伝統を受け継ぐ一人として、「I・Eye・愛」（自分の目でしっかりみて愛情が大事と考え教育をする、という思いです。）を座右の銘に、子ども達、教職員の明るい声の響く学校を目ざして、誠意を尽くして参ります。

お気づきのことがありましたら、どうぞいつでも声をかけてください。

学校だよりの「よつば」は、現在の主要な学区である「風間」「十文字」「青柳」「新開」4地域の協和の象徴であり、「泉と遺跡の里」と称えられたこの地は、野呂川や高瀬川がもたらす豊かな水の恵みと、縄文・弥生時代からの信仰や生活の営みが今に続く地域でもあります。

また、現在は、大岡山や高瀬川、田園と果樹園に囲まれた自然豊かな美しい自然環境と、山形・天童を結ぶバイパスや高速道路のインターチェンジ、県立中央病院や医療大学を学区内に持ち、山形市流通団地や立谷川工業団地に隣接する工業・流通・医療などの要の役割を併せ持つ地域として発展を続けています。

寒さの残る4月も終わり、太陽の光が少しずつまぶしく感じる5月です。子ども達が元気いっぱい遊ぶグラウンドが校長室の目の前に広がっています。子ども達の明るい声は元気の源です。

通学班で登校している楯山小学校。6年生が後ろを気にかけながら歩いてくる姿に頼もしさを感じ、最初の頃より歩くのが速くなっている1年生の姿をみて成長をうれしく感じます。

さて、5月8日より、コロナウイルス感染症が5類相当になり、行動制限等もかなりの緩和となっています。まず、検温が不要になりました。3年以上にわたる検温、そして記入等ありがとうございました。しかしながら、今後も発熱等がある場合は無理をせずに療養していただきますようお願いいたします。

4月の学校の様子の一部になります。  
教職員も子ども達も主体性を大事にしていきます。  
教職員の勉強会。先生も勉強しています。



令和5年度、初めての授業参観。



第1回避難訓練のふりかえりの様子。



1年生を迎える会。  
6年生のリードが温かくていいですね。



1年生、しっかりお話ししてくれました。



繋がりを大切にしました取り組みでした。

